



日光中学校だより
NO. 5
2020.7.22 発行
校長 宇賀神明

白樺2020

学校教育目標

「高き知性をめざし、体を鍛え、
心に鞭打つ生徒の育成」
かしこく やさしく たくましく

1学期が終了します！感慨深く！

学校再開2ヶ月 順調に！

6月1日から学校を再開して、2ヶ月となります。あと、1週間あまりで1学期が終わりますが、校長として、この2ヶ月間を、とても感慨深く感じております。毎日の学校生活を送れることが、なんと幸せなことか。また、このように順調に学校を運営することができたのは、保護者をはじめ地域の皆様、先生方のお力があってこそと、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



1学期は、ほとんどの行事が中止になりましたが、6月23日には、第1回目の運動会実行委員会が開かれ、9月3日に開催する運動会に向けてスタートしました。今年度は、学校内で午前中のみの実施となりますが、そんな中でも、生徒の主体性や一体感を育てていきたいと思っております。



7月31日の終業式には、校長から、スライドを見せながら、成果と課題を話したいと思います。そして、担任から通信票をお渡しいたします。学校によっては、今年度は、前期・後期と分けて9月ごろに渡す学校もあるようですが、本校は、1学期間の生徒の頑張りをお伝えすることになりました。

昨年の終業式



さて、約2週間の夏休みですが、生徒の皆さんには、引き続きコロナウイルス感染防止の新しい生活様式を守りながら、有意義な夏休みにしてほしいと願っています。学習課題はそんなに多くはありませんので、計画的に取り組んでください。そして、8月17日の始業式には、元気な姿を見せてください。運動会に向けて、本格的な活動が始まりますので、規則正しい生活を送り、心身ともに健康でいてほしいと思っております。

今年度の目標「あいと歌」

あ: 明るいあいさつ
い: いつでも一生懸命
I: 自分で考える = 自立・貢献
eye: 目が輝く = 意欲をもつ
愛: 愛をもつ = 感謝・思いやり
と: とことん勉強
うた: 歌声の響く学校

日光中学校ホームページ

<http://www.nikko.ed.jp/nikko-jh/>

令和2年7月20日現在 876502 アクセス
先月比 +3457

今後の予定 (7/22現在)

7/23 (木) 海の日
24 (金) スポーツの日
25 (土)
26 (日)
27 (月) 中期時間割開始
28 (火)
29 (水) 運動会実行委員会
30 (木) 運動会団結式
31 (金) 1学期終業式
8/01 (土) 夏季休業 (~16日)
02 (日)

7月



8月

10 (月) 山の日

17 (月) 2学期始業式
18 (火)
19 (水) 職員会議
20 (木)
21 (金)
22 (土)
23 (日)
24 (月) 各種委員会
25 (火)
26 (水) 3年実力テスト③
27 (木)

*
夏休み



28 (金) 少年の主張大会 (作文で審査)
29 (土) PTA奉仕作業 (中止)
30 (日)
31 (月) 月末統計
9/01 (火)
02 (水)
03 (木) 運動会
04 (金) 運動会予備日
05 (土)
06 (日)
07 (月)
08 (火) 夢講座
09 (水) 職員会議

9月



学校公開を実施！

7月8日（水）に学校公開を行いましたところ、多数の保護者の方々に来ていただきました。心より御礼を申し上げます。生徒が楽しく、一生懸命に活動する姿を観ていただけたかと思えます。

各学年PTAの資料を配付いたしました。ご質問等がございましたら、遠慮なく学校までお知らせください。



PTA臨時役員会開催！

6月29日（月）にPTA臨時役員会を開催し、以下のことが決まりましたのでお知らせします。

- ①今年度のPTAの活動は、行わない。
- ②今年度の専門部部長・副部長は選出しない。
- ③PTA会報は、発行しない。
- ④今後の予定として、
 - ・12/2 授業参観の日の学年PTAで、来年度の役員・理事を決める。
 - ・学校文集「白樺」に、PTA会長・副会長、各部活動の保護者代表の執筆をお願いする。

下野新聞に記事が掲載！

6月11日（木）に、本校の校歌について下野新聞社の取材を受けた記事が掲載されました（7月20日）。ぜひ、ご一読ください。

さて、「西條八十さんと古関裕而さんに、校歌の作詞作曲をどのようにして依頼したのか？」ということが不明でしたので調べようと思い、私の担任であった小栗都美子（おぐりともこ）先生にお電話しましたら、貴重なお話をお聞きすることができました。

「昭和24年、本校の渡辺信太（のぶた）先生が、日光山内の唯心院（ゆいしんいん）に間借りされていて、そのご住職の福井さんに頼んだ。」とのことでした。

そこで、同じ山内の浄土院ご住職である今井さん（私の高校の先輩）にお訊きしたところ、「福井ご住職は、早稲田大学の教授をしていただいたので、古関さんと面識があったのではないか」、ということでした。疑問がかなり解消された瞬間でした。

日光中の思い出③

*今回は、吹奏楽部の話です。

私が入学した時は「部」ではなく、儀式や運動会などで国歌や校歌、行進曲などを演奏する同好会のようなものがあり、ほとんどの部員が他の部と掛け持ちしていました。催しが近くなると集まって、何とか形にしていた感じでした。しかし、2年になると、掛け持ちではなく、吹奏楽だけやりたいという生徒が集まり、顧問の平野憲一先生（音楽科）のお骨折りで、夏休みに、大平町の大中寺（だいちゅうじ）というお寺で2泊3日の合宿を行いました。

そのお寺は、「大中寺の七不思議」と言って、7つの怖い伝説のあるお寺です（興味のある方は「大中寺七不思議」で検索を）。夜になると、お化けが出そうな雰囲気でしたが、皆、爆睡していました。食事は自炊でした。交代で薪でお米を炊き、おかずを作りました。よく中学生がやれたなあ、今でも思います。調理に時間を取られて、練習に人数が揃わない。何とも長閑な合宿でした。しかし、みんなで泊まるのが楽しく、部員との絆が深まり、よい思い出になっています。

3年から吹奏楽「部」になり、夏のコンクールに初出場することになったので、練習にも気合いが入りました。夏の合宿は、宇都宮市の石那田にあった、日光街道沿いの「ルート119」というドライブインのような施設でした。そこは、きちんと食堂があり、練習に集中できました。部屋は大部屋で、自分で布団を敷き、思い思いの向きで寝ました。夜は肝試しをやった記憶もあります。部員は30人くらいでしたが、男女が半々くらいでした。その頃は、金管楽器（ホルンを除く）を吹くのは男子で。女子はほとんどが木管楽器でした。金管楽器を女子が吹くなんて、全く考えられませんでした。

コンクールは、自由曲のみで県大会だけの部門（今で言うとC部門）に出場しました。とても緊張した記憶があります。学校以外で演奏することが初めてで、出場したこと自体が嬉しいことでした。場所は、県庁前にあった「栃木会館」という建物（今は、取り壊されて広場になっています）でした。私が演奏した楽器は、白い手締めティンパニー。音程を変えるときはネジを6ヶ所も回すので、一苦労でした。

そして、忘れることができないのは、右の写真にもあるように、吹奏楽部として、学習発表会で初めて演奏したことです。

ドラムセットもデビューし、練習も本番も楽しくて、充実していました。父親からは「ドラムす子」と言われていました（笑）。

